

2019年度デザイン研究科博士前期課程の分野再編・カリキュラム改編のお知らせ

札幌市立大学デザイン研究科博士前期課程では、2019年4月から、下記のとおり現在の3分野を2分野に再編します。

分野再編・カリキュラム改編のポイントは、【複雑・多様化する社会を見据えて、デザインの専門性を複眼的に深化させること】と【グローバル化した産業や広範な職業分野に貢献可能な人材育成】という2つの視点です。国際的視野と複眼的思考を持つ人材や、広範な分野においてデザインディレクションができる人材が社会から求められています。

このため、従来3分野を2分野としてカリキュラムを再編することにより、社会のニーズ変化に対応できるデザイン系高度専門職業人を育成するための教育研究を行います。また、博士後期課程や平成28年度に4コースから2コース制の新カリキュラムに移行した学部教育との接続性が向上し、これまでより一層、首尾一貫した教育研究を実践できるようになります。



○人間空間デザイン分野

建築士資格取得を目指した専門教育や、都市計画、都市景観、都市と自然の共生デザインなどの専門教育、創造都市やまちづくりの担い手、コミュニティ活動等、地域の人々の社会的活動に深く関係するコミュニティデザインの専門教育などを行います。

キーワード：建築デザイン、都市計画、都市景観、ランドスケープデザイン、都市と自然の共生デザイン、創造都市、地域ブランディング、コミュニティデザイン、メディアアーツ、地域創成

○人間情報デザイン分野

モノ（製品）やコンテンツ（情報）を対象として、人間と対象の間の身体的、生理的、認知的、感性的な相互作用を科学的に探究し、人々のコミュニケーションを豊かにする次世代の人間情報デザインの専門教育を行います。

キーワード：プロダクト、ユーザエクスペリエンス、情報コミュニケーション・ネットワーク、グラフィックデザイン、映像デザイン、デジタルコンテンツ、デジタルアート、認知感性、感性価値創造、感性評価、マルチモーダル知覚